

# やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話題までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを使って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、三田市の北摂総局に所属していた記者が、人事異動で仕事の場所が変わるのを前に、自分が挑戦したことを紹介している記事です。何にチャレンジしたのでしょうか。

## の 伸ばした髪ともお別れ

### 医療用かつらに寄付 取材きっかけ

### 三田で過ごした3年、40センチに



カットした40センチの髪を持つ筆者  
＝三田市三輪2

先日、40センチほど髪を切った。そう言うと「ヘアドネーションをしたの」とよく聞かれるようになり、認知度の高まりを感じている。ヘアドネーションは医療用のウィッグ（かつら）を作るために髪を寄付する取り組み。取材で知ったのをきっかけに筆者もおよそ3年間、髪を伸ばしてみた。

三田に着任して間もない2020年6月、市内の女性がヘアドネーションをする際に密着取材した。小学生の男の子が髪を2度も寄付したという記事に胸を打たれて実践したという。

一般的に31センチ以上あれば寄付できる。半分に折って使うため、40センチでボブに、50センチでロングのウィッグに仕上がる。女性は3年半をかけ55センチを贈っていた。新型コロナのまん延で自粛ムードが続いていた頃。アマビエを作るなど前向きに生きる人たちに励まされ、自身も寄付するこ

とで「誰かの宝物になってほしい」と語っていた。

筆者はときめいた。当時はショートヘアだったが、三田にいる間は伸ばし続けようと思った。ただ伸ばすだけだと思ったが「傷まないようにするのが大変」「ドライヤーに時間がかかる」など、取材で聞いた感想を実感した。

腰辺りまでのロングヘアは束ねてもリュックと背中の中に挟まり、油断すると頭が後ろに持つて行かれる。「背中にタチウオしよってんのかい!」と、ボディービルダーの大会で聞こえそうな(?)かけ声が何度も頭をよぎった。

ヘアアレンジが苦手なため、華やかにしようと内側の髪だけ金色にしてみた。学生時代にもしたことがない髪色に挑戦するきっかけにもなった。

寄付された髪で作ったウィッグを頭髮に悩みを抱える18歳以下に無償提供しているNPO法人「ジャパン・ヘアドネーション&チャリティ」によると、集まった髪は一度全て脱染するため、ひどく傷んでいなければ染めていても問題ないという。髪は少量ずつゴムで束ねてその少し上を切る。袋に入れ、髪の状態を記入したドナーシートとともに同法人などへ送れば寄付が完了する。

異動を控えた2月中旬、髪を切った。美容院でよく言われる「髪は量多いですね〜」が初めて褒め言葉に聞こえた。手渡された40センチを見ると、このぐらいの長さの時はあの取材をしていた頃かな、と三田での日々が思い出された。誰かの笑顔につながりますように。

3月1日の朝刊にのった記事

答えは26日の「週刊まなびー」にのるよ。

①ヘアドネーションはどんな取り組みですか。空欄を埋めましょう。

用の [ ] を作るために [ ] を [ ] 取り組み



④髪を寄付した喜田記者は何を願っていますか。

[ ]

⑤このコラムを読んで、あなたが最も印象に残ったことは何ですか。

[ ]

②喜田記者が髪を伸ばしたきっかけは何ですか。

[ ]

③喜田記者は自分のロングヘアを何の魚に例えましたか。その魚は、ア～ウのうちどれでしょう。



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて3月25日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

12日週刊まなびー  
ワークシートの  
解答例

- ①なまはげ
- ②うおおおー
- ③例＝「ちゃんと宿題しろよ」「いい子にしているんだぞ」
- ④【秋田】【青森】【JR五能】
- ⑤【1両】【安い】【昭和レトロ】【シンボル】